

表-3 88m<sup>3</sup>/sec 取水の湖水位変動

昭和 年度	湖水位 (Y.P.m)	
	最 高	最 低
28	1.30	0.30
29	"	0.71
30	"	0.00
31	"	0.21
32	"	0.91
33	"	-3.63
34	"	0.88
35	"	-0.60
36	"	0.38
37	"	0.76

40m<sup>3</sup>/sec 取水計画について  
88m<sup>3</sup>/sec 取水計画というのが  
たてられている。  
88m<sup>3</sup>/sec のうち都市用水40  
m<sup>3</sup>/sec (12.6 億/年), 農水  
48m<sup>3</sup>/sec であり, その時の  
湖水位の変動, 最高と最低値  
は, 関東農地局の計算によれ  
ば, 次の表-3 のように予測  
されている (元データが入手  
できないので, この表の信頼  
性がどの程度かチェックでき  
なかつた。

〔関東農政局「霞ヶ浦調  
整池利用計画概要書」  
(昭和44年9月)〕

計画でも、霞ヶ浦の自然は、壊滅的打撃をうけることは  
間違いない。工場が水を使うことだけを考えて、勝手に  
水位を上げたり下げたりすればあたりまえの結果である。  
しかも、霞ヶ浦の取水計画はこの四〇トン計画では終ら  
ない。更に利根川の余剰水を導入して、完全に調整池と

して使う計画がすでにたてられている。この計画が実行  
されると、湖水位は、更に低下するという。(表13)  
毎秒四〇トン取水計画がひきおこす霞ヶ浦の荒廢は、  
それを引き金にして進められる将来計画によって、更に  
決定的なものとなるだろう。

### 水がめ化の影響

#### 1 断絶された湖

四〇トン取水と、取水された水の塩分濃度を下げ、海  
水の逆流を防ぐため、常陸川逆水門が完全に閉鎖される  
ことになった。これによる水がめ化による影響として次  
の三つが考えられる。

第一、淡水化により、汽水性生物が生存できなくなる  
だろう。しらうお、いさざあみ、やまとしじみなど、適  
当な塩分がないと生存できない汽水性生物は、当然霞ヶ  
浦から姿を消すだろう。いさざあみは、それ自体は高価  
な魚ではないが、他の魚にとって重要な飼料である。こ  
れを飼料としている魚は、わかさぎ、しらうお、うなぎ  
すずき、まはせ、うぐいなどであり、いさざあみの死滅  
は、これらの魚族にもかなりの影響を与えるだろう。

第二に、うなぎ、ほら、すずきなど遡河性魚族(海か  
ら河川にのぼってくる魚)は、逆水門により、もはや霞